

遠慶

おんきょう



寺院めぐり 与板組 浄秀寺

新潟教区報 第107号

2014(平成26)年8月29日発行

雲林山 浄秀寺

現在聞き伝えられているところによりますと、北陸の方よりご本尊を背中に担ぎ現在の大荒戸の地に移り住んだと伝えられております。

開基は萬治二年、勝仁によって創立され、現在の本堂は今から二七〇年ほど前に建てられたと伝えられています。

大荒戸という地名からもわかるよう、当時この地は大変に荒れた土地であったようです。しかしながら、この地で地元の方々と共にご本尊をお護りし、地域のお寺として浄土真宗のみ教えを伝えてまいりました。

今後もその伝統を受け継ぎ、地域に根をおろし、より地域に密着したお寺としてみ教えを伝え、また様々な活動に挑戦していきたいと思っております。

住所…〒940-0120 五九

新潟県長岡市大荒戸町五八四番地

寺院めぐりのコーナーでは、教区内の各ご寺院のご紹介をさせていただきます。ご寺院の沿革や由緒、力を入れて取り組んでいる事などを教えてくださいます。ご協力、よろしく願います。



編集/浄土真宗本願寺派 「御同朋の社会をめざす運動」
新潟教区委員会 広報部会

発行者/新潟教区教務所長 野村 宗雄

〒940-2402 新潟県長岡市与板町与板乙4356本願寺新潟別院内

Tel: 0258-72-2120 Fax: 0258-72-2536

ホームページ <http://www6.ocn.ne.jp/~nkyouku/>

広島市をはじめ、この度の豪雨により被災された皆さまに
心よりお見舞い申し上げます。

法統継承式団体参拝

平成二十六年六月五日(木)～七日(土)

「法統継承式参拝」に参加して

地蔵堂組 願成寺門徒 山宮 貞資

平成二十六年六月六日、新潟教区門徒総代会主催の法統継承式団体参拝に参加しました。全国から僧侶や門信徒、一般参拝者約八千人が京都市下京区にある西本願寺御影堂に参集し、大谷光真様から、三十七年ぶりに大谷光淳様に第二十五代門主の地位が引き継がれました。当日は参拝者全員のお念仏のもと一大行事が厳かに執り行われ、祝賀ムードに包まれる中、紅白饅頭も振る舞われ、終了しました。

法統継承式に際しての「ご消息」では新ご門主様が「本願念仏のご法義は、時代や社会が変化しても変わることはありませんが、ご法義の伝え方は、その変化につれて変わっていくか、ねばならないでしょう。現代という時代において、どのようにしてご法義を伝えていくのか、宗門の英知を結集する必要があります」と語られました。そのお言葉を拝聴し、宗祖親鸞聖人が求められていたものとは何だったのだろうかと考えました。寺院が大きくなる事よりも、寺院の存在がこれからのどんな方向に行くのか、そして新しい時代における新しい寺院の役割とは何か、寺離れが起きている昨今の状況を鑑みれば、事態は深刻であり対策が急がれます。帰りの車中で一人、「法統継承式」参拝の機会を頂いた事に有難いと思ひ、次の事を心に刻みました。

一、寺院や先祖の遺骨が安置されている墓所に参拝し手を合わせる事を習慣としていくか

一、老若男女あらゆる世代がみ仏様への敬意と感謝の念を持っているか、道徳心や学問の始まりは寺院や経典から学ぶ事があつたのではないかと自問自答

一、宗教心は押しつけられるものではなく、生きてゆく拠り所として強い信念を持つて日常を過ごしていくべきではないか

最後に、自分の心に向き合い、み仏様の誓いを信じてお念仏をいただいて、これからの人生を全うしたいと自省した京都の旅でありました。有難うございました。

合掌



大谷本廟参拝

本願寺新潟別院 御取越報恩講・御入仏法要

平成二十六年六月二十五日(水)～二十七日(金)



御入仏法要 縁儀



御入仏法要



子ども報恩講

御取越報恩講参拝

元上組 託念寺門徒 堀井 善治

私は、昨年会社を定年退職したこともあり、今年の御取越報恩講は、三日間法要とご法話を聴聞するご縁を頂きました。

今年の報恩講は、折しも新潟日報に連載中の五木寛之作「親鸞」完結篇で親鸞さま晩年の時期と相まって、ご生涯の御苦勞に感謝申し上げる機会となりました。

ご法話は三日間大阪教区の清岡隆文先生でした。親鸞さまのご和讃のお話では、清岡先生の後方内陣の親鸞さまは真向かいなので、清岡先生のお話は親鸞さまから私に直接頂いているような思いにさせて頂きました。

清岡先生のご法話の一部を思い出すまま御紹介いたします。

信心は本願力回向の信心なり

自力とは人間の力 私に信心する

他力とは仏さまの力 私に信心がめぐまれる

偽(ぎ)は、人の為と書くが、嘘である。必ず自分の心が入る。

また、ご門徒さんの詠まれた歌を紹介されました。

ともすれば 二度(朝夕)の御礼も 欠くるなり

三度の箸は 忘れざる身も

おはようございます 阿弥陀さま

おやすみなさい(ありがとう) 阿弥陀さま

私は清岡先生から別院でご法話を頂くのは三十年ぶりでした。このたびは三十年来憧れていた清岡先生と私のお話をする機会も頂き「ありがたい、ありがたい」三日間でした。

親鸞さまのみ教えに出遇えたことは、我欲のみの生き方から、阿弥陀さまに見守られている生き方に変えて頂いたことであります。ただただお念仏です。

合掌

新潟教区活動報告(2014年4月～2014年8月)

4月	
25日(金)	・親鸞となむの大地展 オープニングセレモニー 『親鸞となむの大地展』は新潟県立歴史博物館にて4月26日～6月8日まで開催され、3万人を超える入場者がありました。
5月	
23日(金)	・門徒総代会研修総会『若い人にお念仏を伝えるには～私の取り組みを通じて～』(34名参加) 講 師 山之内 浩乗 氏(本願寺派布教使・新潟教区) 家庭において「家族礼拝」の大切さをお話し頂き、寺院活動では、お念仏をよろこぶ仲間作りを紹介されました。
27日(火)	・仏教婦人会連盟研修総会『御同朋の社会をめざす仏教婦人としての取り組み』(約90名参加) 講 師 西原 祐治 氏(仏婦総連盟講師・東京教区) 変化しつつある仏教婦人会の現状を踏まえ、これからの仏婦活動の在り方をお話いただきました。
6月	
5日(木)～7日(土)	・新潟教区門徒総代会主催 法統継承式団体参拝(20名参加) (大谷本願参拝～晨朝参拝・法統継承式参拝～京都嵯峨野観光～平等院鳳凰堂見学)
8日(日)	・仏教壮年連盟研修総会『寺院仏教活性化に向けての具体的方策について』 ～寺院仏教未結成寺院や仏教活動休止中の寺院へのはたらきかけ～ 講 師 清水 正朋 氏(本願寺派布教使・新潟教区) まさに私が阿弥陀様に救われるよろこび＝仏恩報謝の営みこそが、仏教活動の原点であるとお話をいただきました。
9日(月)	・新潟別院常例布教 講 師 吉田 俊宣 氏(本願寺派布教使・福井教区) ・クリーン大作戦(新潟別院境内地内の竹林整備) 常例布教参拝の後、教区内僧侶・門信徒20名で鐘楼脇竹林整備と参道付近の除草作業を行いました。
15日(日)	・門徒推進員連絡協議会研修総会『教えと現実の生活』 講 師 旭 勲 氏(本願寺派布教使・新潟教区) 私たちが現実とどう向き合っていくのか、どう生活していくのか、真俗二諦の教義による過去の教団の過ちを踏まえ、浄土真宗を拠り所としていく生き方についてお話いただきました。
23日(月)	・寺院女性会研修総会『宗門の今を知ろう ～なぜ、築地別院が築地本願寺になったの?～』 宗派の首都圏開教の中心となる築地本願寺。過疎・過密の問題は首都圏のみの問題ではなく、次代を見据えた改革の内容と首都圏開教の重要性についての講義が行われました。
25日(水)～27日(金)	・御取越報恩講・御入仏法要(御入仏法要には教区内より約200名が参拝) 新潟別院ご本尊修復にかかるご入仏法要がご本尊前の上卓・前卓の打敷も新調して厳修されました。まだお参りでない方は、このご縁に是非ともご参拝ください。
7月	
10日(木)	・仏教婦人会研修旅行(32名参加) 東日本大震災ボランティア活動を行っている東北教区・本光寺住職・坊守様へ参拝し、本光寺様よりボランティアのお話をいただきました。なお、仏婦会員が持ち寄った支援物資のお米を届けました。
24日(木)	・『過去帳又はこれに類する帳簿』の管理や取り扱いに関する研修会 講 師 小川 真理子 氏(同和教育振興会評議員・岐阜教区) テーマ ①『過去帳又はこれに類する帳簿の開示問題』について 開示問題に関する経緯の説明と、それにより明らかにされた私たちの意識と問題点を解説いただきました。 ②『新差別事件糾明のための方途』について 過去・現在起こる様々な差別について、無関心・無関係と思わず、教団の一人として私がどう向き合っていくか、どう行動していくかを、講義を踏まえ全体協議会にて話し合いました。
26日(土)～27日(日)	・全国真宗青年の集い 北海道大会(5名参加) 大会スタッフによる朗読劇や模擬仏前結婚式などを見学し、これからの仏青連盟の活動を話し合いました。
30日(水)～31日(木)	・裏磐梯サマーキャンプ(有志によるボランティア活動・次号紹介)
8月	
5日(火)～6日(水)	・少年連盟サマースクール(子ども25名 教区内寺族・門信徒スタッフ23名参加) 寺泊の海々ハウスにて快晴の中海水浴・仏典童話DVDの視聴・キャンプファイヤーなどが行われました。

法話 ① 与板組 雲外寺 真敷祐弘

仏慧功徳をほめしめて

十方の有縁にきかしめん

信心すでにえんひとは

つねに仏恩報ずべし

〔浄土和讃〕 註釈版p.565)

今年、布教使任用五十周年を迎えました。ご慈育くださった先輩諸師のご恩を有り難く思います。とくに別院（三条・与板別院）の御屋根講、御影巡回でのご門徒宅での法座で、膝つき合わせてのご法座は、私にとって貴重な体験でした。こうした門信徒の方々が布教使を育ててくださったのです。

聖人は、浄土真宗の要を冒頭にただかれたご和讃を明らかにされました。

仏慧功徳をほめしめて・・・讃嘆

十方の有縁にきかしめん・・・聴聞

信心すでにえんひとは・・・信心

つねに仏恩報ずべし・・・報謝

このご和讃からいただくことは「浄土真宗の布教」は讃嘆だったのです。

今日の私たちは阿弥陀様のはたらきをほめたたえているでしょうか。どうも讃嘆が苦手になったようです。阿弥陀様のお徳を讃嘆するより、ソロバン勘定が先になり、四暴流（欲暴流・有暴流・見暴流・無明暴流）の中を押し流されている毎日です。

私は昨年、肝細胞癌の手術を受け、今は小康状態です。何時再発して命終わるか分かりませんが、その時までお念仏に遇うことができたことを讃嘆していきたくと思っています。

それが五十年間ご慈育くださった有縁の「いのち」への報謝といたしております。

○今後の予定 ご関係の皆様、多くのご参拝、ご参加をお待ちしております。

・寺院女性会研修会

期日 平成26年9月2日(火)

会場 本願寺新瀉別院

テーマ 『お寺で出来る災害支援活動』

講師 麻田 弘潤 氏

・門徒推進員連絡協議会研修会

期日 平成26年9月10日(水)

会場 本願寺新瀉別院

テーマ 『法統継承を機縁として、つながる、つたわる、ささえる』

講師 井上陽雄 氏

・第1連区布教使研修会

期日 平成26年9月11日(木)～12日(金)

会場 ニューオータニ長岡

テーマ 『超高齢社会と葬送』

講師 北塔 光昇 氏

・第34回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

期日 平成26年9月18日(木)

会場 国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑(東京都千代田区三番町2)

・「法統継承に際しての御消息」披露総局巡回・公聴会

期日 平成26年9月26日(金)

会場 本願寺新瀉別院

・門徒総代研修会(元上組主管)

期日 平成26年10月6日(月)～7日(火)

会場 蓬平温泉 和泉屋

講師 坂原 英見 氏

・新瀉別院謝恩講法要

期日 10月23日(木)～24日(金)

講師 前田 昌光 氏

・部落解放同盟新瀉県連との合同学習会

期日 9月29日・30日のいずれかを予定

会場 本願寺新瀉別院

ラジオ法話

新瀉教区布教団による ラジオ法話

FMながおか 80.7

毎週月曜(金曜) 16時15分より放送中です。

(放送地域は、長岡市全域、小千谷市、小国、川口、山古志、出雲崎、寺泊、和島、与板、見附、中之島、栃尾)

身元調査 しない させない 許さない